



## 特集：児童交流バス(敦賀日帰り旅行)

現在各務原市には4千人弱の外国籍市民が暮らし、その約半数がブラジル人です。以前は出稼ぎで日本に一時滞在するブラジル人が多く見られましたが、最近は定住傾向を強めています。こうした中、市内のブラジル人学校は、日本の社会を知り、地域とかわりあう様々な機会を求めています。昨年夏、各務原国際協会は、5、6年の小学生とブラジル人学校の児童の交流事業として、各務原市の友好都市である敦賀市への日帰り旅行を企画しました。

### 敦賀行き車中

昨年8月19日小学生17名、ブラジル人学校の児童16名、その引率の先生や、通訳、協会のスタッフを含め、総勢46名で敦賀市松原気比海岸へ向けて出発しました。座席は特定のグループだけで固まらないように配慮しました。

みんなで「ボンジーア(おはよう)」とあいさつした後、それぞれ「ムイト・プラゼール。メウ・ノメ・エ・・・(はじめまして。私の名前は・・・)」と自己紹介してもらいましたが、それでもやはり知らない人同士の車中に、緊張感がみなぎります。そこで、日本人なら誰でも知っているけどブラジル人が知らないようなクイズと、ブラジル人なら誰でも知っているけど日本人が知らないようなクイズを交互に出し、お互い答えを教えあってもいいことにしました。

問) 野球の世界一を決めるワールド・ベースボール・クラシックで日本が優勝した回数は? 2回、 1回、 なし (答えは )

問) サンパウロ、 リオデジャネイロ、 ケアンズ、 この中でブラジルにない都市は? (答えは ケアンズはオーストラリアの都市) こんな感じで即興のクイズをいくつも出題しました。

クイズの答えをお互い教えあっているうちに、言葉がわからなくても少しずつ打ち解けてきて、お菓子の交換なども始まりました。

## 地引網体験

松原気比海岸到着後、まず地引網漁を行いました。みんな初めての体験だったようで、網にかかった大きささまざまな魚、かに、たこなどを興味深げに眺めたり触ったりしていました。食べられる魚と食べられない魚など、漁師の解説にみんな熱心に耳を傾けていました。その後は獲ったタイなどの海鮮バーベキューの昼食を楽しみ、そしていよいよお待ちかねの海水浴を始めました。



## スイカ割り

夏の海といえばスイカ割り。途中の休憩時間を利用して、みんなでスイカ割りを楽しみました。ただし普通のスイカ割りとはちょっとルールが違います。日本の児童にはポルトガル語で指示、ブラジル人児童には日本語で指示を出すのです。ジレイタ！ジレイタ！（右！右！）フレンチ！（前）バアチ！（打て）慣れない言葉に戸惑いながらも、みんなで仲よくゲームを楽しみました。



## ブラジル人学校へのお手紙

帰りの車中はさすがにみんな疲れてぐったり寝ていました。楽しかった一日もあっという間に終わりです。後日参加した児童からの感謝の意をこめた作文を、ポルトガル語に翻訳してブラジル人学校に届けました。ここにその一つを紹介させていただきます。



私が一番心に残っているのは、バスの中での会話です。私と一緒に参加した友達と話しながら行くんだと思っていたら、遠くの席だったので、しゃべれなくてイヤだなあと感じていました。でも、となりのブラジル人の2人が話しかけてくれたり、おかしをくれたりして、とてもうれしくて、すごく仲良くなれました。クイズもみんなで協力して答えを教えたり教えてもらったりして、どんどん仲を深めていけたので、とってもうれしかったです。

私が一番楽しかった事は、海で泳いだ事です。岐阜県には海がないので、プールや川でしか泳げません。だから、海で泳げてとってもうれしかったです。海に入っている時、ひもが足にすってけがをしてしまいました。その時にも、バスの中で楽しく話をしていた2人が、「大丈夫?」と、声をかけてくれてとてもうれしかったです。

私はすごくはずかしがりやなので、2人のほうから声をかけてくれてとてもうれしくて、まさかブラジル人の子と仲良くなれるなんて思ってもいなかったのに、ビックリしました。

ブラジル人学校児童のみなさん、楽しく明るく声をかけてくれて、とてもうれしかったです。ありがとうございました。

寒川 琴乃

また、ブラジル人学校児童からも感謝のお手紙が届きました。ここにその一つを紹介させていただきます。

私たちは日本人の児童との交流と新しい友達づくりのために敦賀市の海に行くことになりました。

最初に日本人の小学生を見たときには少し恥ずかしかったけど、すぐになれました。バスの中でやったゲームはおもしろかったです。



なぜかという、それを通して話ができるようになったからです。

海に着いて、地引き網体験をし、それから昼食を食べました。とってもおいしかったです。少し休んで海水浴に行きました。私は海水をたっぷり飲んだけどそれでも遊び続けました。30分ごとに休憩を取って、その時にすいか割りを行いました。すいかを割ることができました。

そのあと2回くらい海に入りました。それからシャワーを浴びました。そのとき、友だちになった日本人の女の子にシャンプーと石けんを貸してあげました。その子は、私と私の友だちにとっても親切でした。

私はアイスクリームやかき氷を食べるのは大好きです。おいしかったです。帰りに、バスの中でいろいろ食べてから、疲れたので寝てしまいました。起きたとき日本人の児童の皆さんに別れのさよならを言いました。みんなとっても優しくかったです。この旅行はとっても楽しかったです。また行きたいです。

バーバラ・カオリ・イマムラ

この企画にご協力いただきました関係者の皆様に、この場を借りて深くお礼申し上げます。異文化交流の輪を広げるため、各務原国際協会は今年も様々なイベントを企画したいと考えています。

## 各務原国際協会の入会およびボランティア登録について

### <入会および会員の特典>

協会会報 KIA TIMES 提供（年間3～4回発行、郵送）、イベントチラシ（随時郵送）  
各種国際協会主催行事への参加、国際協会主催行事での参加料の割引制度があります。

<1> 個人会員 1口 2,000円 <2> 法人会員（会社・団体） 1口 10,000円  
ホームページ [www.kia1986.org](http://www.kia1986.org) よりのご登録が便利です。  
有効期間は、1年間（年度制4月～翌年3月末）

### <ボランティア登録>（ボランティア登録には会費の納入は必要ありません。）

ホストファミリー、語学（通訳・翻訳）、企画・運営、災害、外国籍住民のための日本語講座など、各種ボランティアがごございます。

ホームページ [www.kia1986.org/volunteer.html](http://www.kia1986.org/volunteer.html) からのご登録が便利です。または、下記事務局まで登録用紙をご請求ください。

### < 各務原国際協会 事務局 >

〒504-8555 各務原市那加桜町 1-69 各務原市観光文化課内（産業文化センター6階）

ホームページ [www.kia1986.org](http://www.kia1986.org) メール [kia@city.kakamigahara.gifu.jp](mailto:kia@city.kakamigahara.gifu.jp)

Tel (058)383-1426 Fax (058)389-0765